

(表面よりつづき)

意見交換会

Q／日本では放射線照射による殺菌、殺虫が許されていないとのことですが、安全な食材はどのように選べば良いですか。

鵜飼／流通している食材は、基本的には安全だと思いますが、より安全を高めるには、誰がいつ作った(獲った)ものかを知ること、そして長期保管をせず、できるだけ早く食べることでしょうね。

Q／これまでは日本の食材のほうが安全だという印象でしたが、放射線照射された外国の食品のほうが安心できるということですか？

鵜飼／確かに放射線を照射した食品は殺菌されていて、腐敗しにくいという意味で安全です。日本にも、早くそのような食材が入ってくるようになれば

良いですね。ただ、放射線は残留農薬や土汚れなどは取り除いてくれません。やはり「よく洗って早めに食べる」というのが基本だと思います。

参加者の声

●身近なお話で、とてもわかりやすく楽しく勉強できました。もっとたくさんお話しが聞きたかったです。できればPTAや女性グループの集まりなどに来ていただけて、今回のようなお話をしていただきたいと思います。

●参加した子どもが大学を希望しているの、大学の講義のような状況を体験でき、ますます行きたくなったようです。ありがとうございました。

●今日、上関町に新しい女子会ができました。これからいろいろ勉強していきたいと思っています。鵜飼先生には今後とも協力をお願いしたいと思います。

勉強会を終えて

柏田／前回の勉強会は男性ばかりだったので「今回は女性とおしゃべりたい」との鵜飼先生の希望を受けて、今回は女性に集まっていたきました。

個人的には、放射線や原子力教育について言及されたことも良かったと思います。青壮協では、これからも原子力についての理解を深めるため、勉強会や講演会を実施し、皆さんに正しい知識を身につけていただきたいと考えています。たくさんの方の参加を待っています。

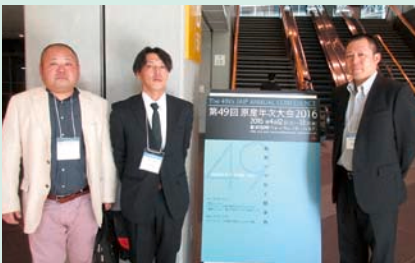
松原／料理教室を担当しました。皆さん楽しんで学んでくれたようで喜んでいます。最後に、ご協力をいただいた女性グループ「アップル」さんに、この場を借りて改めてお礼申し上げます。

核燃料サイクルの検討は必要

上関町青壮年連絡協議会 事務局 長 柏田 真一
大会を通じて議論されたのは「世界の持続可能な発展には原子力が重要であり、原子力事業を安定して運営するには、核燃料サイクルや高レベル放射性廃棄物の処分等に対する適切な制度、仕組みの構築が必要である」、「地球規模でのエネルギー資源問題や温暖化問題を考慮すると、原子力や再生可能エネルギーを含め多様な電源構成が必要である」という2点でした。

次世代を見据え 国民の理解を

上関町青壮年連絡協議会 事務局 長 松原 聖
意見交換会を通じて、高レベル放射性廃棄物の処分は大変長い期間にわたる事業であり、原子力を今後利用するためには、最終処分について、我々大人だけでなく、次世代を担う子どもたちも含め、国民全体で理解する必要があると実感しました。



第49回 日本原子力産業協会 年次大会 未来へつなぐ原子力

青壮協 参加レポート



4月12・13の両日、日本原子力産業協会(JAIF)主催の『第49回原産年次大会』および『第13回JAIF地域ネットワーク意見交換会』が開催されました。

テーマは「ENERGY FOR US 未来へつなぐ原子力」で、原子力に関する様々な講演やパネルディスカッションが行われました。

また意見交換会では「高レベル放射性廃棄物の最終処分の実現に向けて」をテーマに意見交換が行われました。青壮協としては、上関町が数少ない原子力発電所立地計画地点であることを踏まえ、建設に向けた課題等について説明するなど、非常に有意義な意見交換会となりました。

青壮協の環境美化活動 今年も総出で海岸清掃

5月8日(日)、上関町青壮年連絡協議会メンバーを中心に、総勢20名が中の浦海水浴場の清掃活動を行いました。これは、毎年町内外から大勢の方が訪れる海水浴場を快適に、安全に楽しんでもらおうと、昨年から行っているものです。

今年は浅瀬にある大きな岩や力キ殻のついた岩を撤去、また砂浜のゴミを拾うなどの活動を行いました。



青壮協は「原電立地を契機とした町づくり」を実現するために、様々な活動をしています。今後も町づくりにつながる活動を積極的に企画していく予定です。多くの町民の方のご理解、ご協力をお願いします。



上関町青壮年連絡協議会主催 エネルギー講演会

「エネルギー・環境政策と私たちの暮らし」

常葉大学 経営学部 教授

講師：山本隆三 氏

日時／平成28年 10月23日(日)
10:00~12:00
(開場 9:30)

場所／上関町総合文化センター 多目的ホール

主催／上関町青壮年連絡協議会

後援／一般社団法人 日本原子力産業協会
上関町まちづくり連絡協議会



8月3日、中国電力の埋立免許の延長が許可され、建設に向けた環境がひとつ整い、建設に近づきました。しかし、県は同時に、発電所の本体工事の着工時期が見通せるまで埋立工事を実施しないように要請。中国電力は要請の趣旨を重く受け止め慎重に対応すると県に回答しています。

町連協としても、一日も早い準備工事の再開を願っており、中国電力には一日も早く着工の見通しを得て工事を再開できるように、しっかりと取り組んでいきたいと思っています。(K)

後記